

2022年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会東北予選会 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

1. 大会日程について

(1) 日程

令和4年7月10日(日) 9:00～ 開会式・女子試合
12:10～ 男子試合

(2) 計量

女子計量会場：柔道場師範室

女子非公式計量 7月9日(土) 13:00～13:30

女子公式計量 7月9日(土) 13:30～14:00

男子計量会場：柔道場

男子非公式計量 7月9日(土) 15:30～16:00

男子公式計量 7月9日(土) 16:00～16:30

(3) 審判会議

令和4年7月10日(日) 8:30～8:50 秋田県立武道館第3会議室

2. 試合会場について

秋田県立武道館柔道場の第2試合場と第3試合場にて試合を行う。

3. 入場制限について

(1) 無観客で開催する。

(2) 入場を認める参加者

選手7名・練習相手各県1名

選手1名につき、1名のコーチが入場することができる。

(3) 入場を認める大会関係者

大会競技役員(補助員含む)以外は原則入場を認めない。

4. 健康調査票等の提出及び検温の実施について

(1) すべての参加者及び大会関係者に健康調査票(選手用・役員用)の提出を求める。

(2) すべての参加者及び大会関係者は当日各自検温した上で来場する。当日検温をしていないものには、入場時検温を実施する。

(3) 健康調査票の提出に不備がある場合、記載内容に問題がある場合、当日発熱している場合、検温に異常が認められた場合は、大会への参加を認めない。

5. 前日練習について

(1) 練習会場：柔道場

(2) 練習会場に入場できる参加者

選手7名・練習相手各県1名

選手1名につき、1名のコーチが入場することができる。

(3) 女子前日練習 7月9日(土) 12:00～13:30

女子前日練習参加者は、11:45から入場可能とし、14:10まで退館すること。

(4) 男子前日練習 7月9日(土) 14:30～16:00

男子前日練習参加者は、14:15から入場可能とし、16:40まで退館すること。

6. 当日練習について

(1) 練習会場：柔道場

(2) 練習会場に入場できる参加者

選手7名・練習相手各県1名

選手1名につき、1名のコーチが入場することができる。

(3) 女子当日練習 7月10日(日) 8:10～8:50

(4) 男子当日練習 7月10日(日) 11:20～12:00

7. マスクの着用について

すべての参加者及び大会関係者に常時マスク着用を義務づける。ただし、試合を行う選手についてはこれを免除する。

8. 手指消毒及び周辺施設の消毒について

(1) 入場時の手指消毒

すべての参加者及び大会関係者に対し、入場時の手指消毒を義務づける。

(2) 入場後の手指消毒及び周辺施設の消毒

入場後、会場内においても適宜手指の消毒を求める。そのため、消毒液を入り口各所に設置するとともに、参加者に消毒液の持参を依頼する。

(3) 試合会場の消毒

定期的に試合場(畳)の消毒を行う。

9. 身体的距離の確保について

参加者は、常時適切な身体的距離を確保し、行動するようにする。

10. 試合前、試合中の選手、コーチの行動について

(1) 試合前

①選手は各自手指消毒を行う。

②選手は試合場でマスクを外してコーチに預ける。

(2) 試合中

①試合中、選手には大きな発声をしないよう、自粛を求める。

②会場内において、大きな声での会話や応援をしないこととする。特に試合中のコーチによる大声での指示や指導は大会申し合わせ事項により、禁止とする。

11. 柔道衣コントロールについて

(1) 審判員が目視によりコントロールを行う。なお、疑義が生じた場合は各試合場において、審判員が測定器具を用いて検査を行う。規格に不適合と判断された場合は、「失格」となることを理解のうえ、選手・コーチは責任をもって規格に適合しているか事前に確認すること。

(2) 試合をする際の赤白を示す赤白の帯について、各自が赤白それぞれの帯を持参することを義務付ける。感染防止の観点から大会事務局では準備しない。

12. 選手・練習相手への対応について

受付に健康調査票を提出する。試合参加の判断は、計量日から起算した次の対応表により判断する。

<試合参加の入場可否の基準>

7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	計量日	大会当日
記録開始								
×2日以上発熱(注1)、諸症状(注2)あり				×1日でも発熱(注1)、諸症状(注2)あり				
×健康調査票を提出しない								

注1) 発熱の基準は、37.0度以上とする。ただし、平熱が37度前後の場合は、平熱+0.5度までは参加を認める。平熱は直前7日間の平均値とする。

注2) 諸症状とは健康調査票に掲げるいずれかの項目を指す。

※出場チームにおいては、出場選手が 1 人でも有症状のために試合参加不可となった場合、チーム全体として試合を辞退することが望ましい。

個人戦でも試合 3 日前以降に有症状者と練習していた選手は出場不可とする。

※計量日の 7 日前以降に選手自身が COVID-19 に感染、または保健所から濃厚接触者に認定された場合はいかなる状況においても大会参加は認められない。ただし、チーム内に COVID-19 感染者・濃厚接触者が出たものの、選手自身が感染者でなく、保健所から濃厚接触者に認定されていない場合や、保健所からの濃厚接触者認定が遅滞している場合（保健所からの濃厚接触認定が遅滞している場合には、全柔連の指針 P23 柔道の練習及び大会出場における濃厚接触者の定義から指針による濃厚接触者を選定する）には下記の条件を全てクリアした場合に限り練習を再開でき、かつ大会への出場を認める。

＜大会前にチーム内に感染者や濃厚接触者が発生した場合の対応表＞

状況	大会出場
1.計量日 7 日前以前に出場予定選手自身が感染	10 日間を経過していれば○
2.計量日 7 日前以前に出場予定選手自身が濃厚接触者に認定	7 日間を経過していれば○
3.計量日 7 日前以降に出場予定選手自身が感染・保健所の濃厚接触者認定	× 不可
4.計量日 7 日前以降に寮等で共に生活する者が感染または濃厚接触者となった場合	× 不可
5.計量日 7 日前以降にチーム内に感染・濃厚接触者が出た場合 ・当事者以外の「練習する構成員」の PCR 検査が陰性 (PCR 陰性の構成員で練習継続注 1 は可能) ・大会前 PCR 検査で「練習する構成員」全員が陰性	左記条件を満たせば○
・当事者以外の「練習する構成員」の PCR 検査が陰性 (PCR 陰性の構成員で練習継続注 1 は可能) ・計量日までの期間に「練習する構成員」のうち 1 名でも大会前 PCR 検査陽性	× 不可
6.計量日 3 日前以降にチーム内に感染・濃厚接触者が出た場合	
・分散練習を行っていなかった。	× 不可
・分散練習を行っていた。	○ 可能

13. コーチ・大会競技役員への対応について

健康調査票を提出する。（コーチは選手・練習相手と同様のもの、役員は役員用のもの）

14. 審判員への対応について

(1) 健康調査票（役員用）を提出する。

(2) 試合中の位置取り

審判同士や選手とは、十分な距離（少なくとも 2 m 以上の距離）をあけるが、技の判定の判断には近接での判断が必要な場合もあるので、臨機応変に対応する。

(3) 試合中のコーチ・選手のコントロール

コーチや選手が試合場で大声を出して、応援や指示をする場合には、厳しくコントロールする。

(4) 試合場の清掃、消毒

試合場が出血や汚物などで汚れた場合は、審判員の指示で係員が必要に応じて清掃・消毒を行う。